別海町立西春別小学校　学校だより

か ら ま つ　No.12

平成２６年１０月３１日発行　　発行責任者　校長　河原　宣孝

次につなげて

校長　河原宣孝

先日行われました学芸会にはたくさんのご参観をいただきありがとうございました。児童一人一人の個性と、仲間と共に演ずる響き合いが、劇、音楽、踊り、裏方などさまざまな場面で見ることができました。日頃ご家庭で見ることのできない子どもたちの姿だったと思います。子どもたちは、いろいろな刺激を受けて、成長している様子が伝わったかと思います。この子どもたちの表現力を、教育活動を通してさらに伸ばしていきます。さらなるご支援のほど、よろしくお願いいたします。

さて、以前通信で全国学力学習状況調査結果について一部を掲載していましたが、本校のよさと課題について、まとめましたのでお知らせいたします。

全国学力・学習状況調査の結果から

全国学力状況調査　正答率	
国語A	**西春小**≒全道≒全国
国語B	**西春小**＜全道＜全国
算数A	**西春小**＜全道＜全国
算数B	**西春小**＜全道＜全国
総合正答率	**西春小**＜全道＜全国

からまつ９号でもお伝えしましたが、全国学力テストの結果を全道の結果と比較すると、算数では、「数と計算」など一部の単元では平均を上回っているものの課題が見られました。

今回の結果から、「読むこと」や「書くこと」が苦手である傾向が見られます。このあたりが、国語だけでなく算数の文章題の読み取りにも影響していると考えられます。また、教科以外の人との関わりについての調査では「いじめを許さない気持ち」「人の気持ちがわかる人になりたい」という設問では全国・全道を上回っており、心の醸成がはかられていることが読み取れるものの自己肯定感がやや低くなっていることもわかりました。自分を謙遜しているきらいもありますが、自分に自信が持てるはたらきかけをする必要性を感じます。

「家で、学校の授業の復習をしている」割合については全国平均を大きく上回っているのに対し「学校の授業時間以外に、普段、１日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか。」という問いについては、全道平均をやや下回る結果となりました。学年×１０分以上の家庭学習の徹底を進めていかなければならないと考えます。

これらの調査結果から見えてきたことをもとに、子どもたちのよいところをさらに伸ばすとともに、課題については「読むこと」「書くこと」についての重点的な指導、自尊感情を高めるはたらきかけ、授業での勉強を家庭での自発的な学習に向かわせるためのモチベーション高揚、そのための工夫の模索など、学校評価の結果も合わせながら改善に努めていきたいと考えます。家庭と学校との連携を密にし、これまでと同様にご家庭の協力をお願いします。

逆上がりと計算

授業でわかることと定着して、いつでもできることの間には大きな差があります。たとえば逆上がりの練習を続けていると、ある日突然できることがあります。今まで思うようにからだが動かなかったのが、くるりと鉄棒を回ることができ、自分自身驚いた覚えはお持ちではないでしょうか。絶対できないと思い込んでいたことが、できる予感に変わる瞬間。嬉しくて、もう一度と思って鉄棒を握り地面を蹴っても、続けて逆上がりができるかといえば、そうはうまくいきません。新しいことを習得するのは簡単にはいかないことが多いからです。いつも確実に逆上がりができるようになるためには、できる予感をつかんだときからが肝心です。さらに、練習を繰り返し、予感を自信に変える必要があります。

これと同じことが勉強にもあてはまります。たとえば、算数の九九やかけ算、割り算などの計算。授業で習った直後は、九の段まで九九も言えたし、掛け算、割り算もできたという手応えをつかめたとします。けれども、ここで私たち教師の見極めが必要になります。そのとき、たまたま最後まで言えたのか、いつでも九九を思い出せるのか、問題を解くのに必要な道具として九九を利用できるまで定着しているのか。子どもたち個々の定着の度合いを丁寧に見取りながら、必要に応じて手立てを講じる必要があります。

子どものがんばりと大人の支援

中学校に入学した生徒が勉強について口にすることとして、内容の難しさとともにテスト範囲が広いことがあげられます。小学校では単元が終わるごとに確かめのテストを行うのが一般的です。けれども中学校になると、出題範囲は一学期間を通して学習した内容からであったり、３年間分（小学校からあわせると９年間分）の範囲から問題が作られます。

ところで、義務教育９年間で、子どもたちはいったい何時間算数・数学の勉強をするかというと、授業時間では１３９６時間（実時間に直すと、１０７９時間）です。ＮＨＫの大河ドラマにあてはめるとおよそ２８年間分の放送を視聴するのと同じ長さです。義務教育９年間で学習したことを利用して考えるということは、その１時間、１時間で学習した内容が途切れなく頭の中で整理されている必要があるといえます。

こう考えると、子どもたちが勉強と向き合い、習得するという作業はとても大変なことだと言えます。そのために大人の支援が欠かせないものとなります。暖かく励まし、時に厳しく、子どもの変容に寄り添いながらひとつひとつ子どもが抱える課題を乗り越えさせてあげられるよう指導工夫を重ねていきたいと考えています。

生活改善スローガン（西春別小学校）

早寝 早起き 朝ごはん テレビ（ゲーム）を止めて 外遊び
家庭学習（学年×１０分以上）も忘れずに。

学芸会

１８日（土）、学芸会が行われました。

今年がはじめての学芸会の１年生の劇は「せまいはし」でした。はしを挟んで、向かい合った二匹の動物たちが、先に渡るのをゆずったり、遠慮しあったりする様子を元気よく、そしてコミカルに演じました。２年生は、イソップ童話から３つの話を発表しました。英語で演じる「うさぎとかめ」や関西弁の「オオカミが来た」など、表現力が光る作品となりました。３・４年生は落語をモチーフにした「金のなる木」という劇です。落語の語り口や雰囲気を上手に取り入れました。芝居が終わったあと「落とし話」でしめくくるのも楽しい演出でした。５・６年生は「エルコスの祈り」という劇団四季のミュージカルをもとにした作品。夢や希望、個性の大切さについて考えさせられる高学年らしい発表でした。演目は、劇だけでなく音楽発表もあります。また全校児童による合唱発表と江差もちつきばやしの演舞もありました。限られた練習時間の中で、子どもたちはほんとに頑張りました。その頑張る姿は、これまで積み重ねてきた学習の成果が結実されたものだと思います。子どもたちは行事を通して大きく成長します。その成長は、ふだんの勉強や生活につながっていきます。

そして、また劇や器楽、合唱など、クラスの友達や全校で協力しながら創り上げる経験は、学校で行う勉強の大きな意義のひとつだと思います。

全校合唱では「ビリーブ」と「音楽のおくりもの」を合唱しました。一部、曲目を変えて１１月５日に行われる町の音楽祭で発表します。

全校で演舞するもちつきばやしは大迫力でした。地区の敬老会でも披露し、大きな声援をいただきました。

お元気で！

３年生の〇〇〇さんが、中春別に引越しすることとなり１０月３１日をもって西春別小学校とお別れすることとなりました。寂しくなりますが新しい学校に行っても元気で頑張ってください。

１１月の行事から

◎町合同音楽祭　５日（水）

西春別小学校は、「ビリーブ」と「唱歌メドレー」を発表します。１３：３５分からの予定です。

◎歯科指導　６日（木）

歯科衛生士の方に来ていただいて、歯を大切にするための学習をします。

◎複式教育研究大会１４日（金）

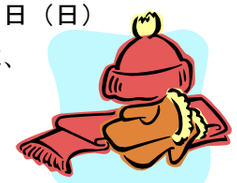
西春別小学校を会場にして、複式教育の研究大会を行います。そのため、下校は１２時２０分となります。

◎食育の学習　２６日（水）

栄養士の方に来ていただいて、食事の大切さについて学習します。

◎開校記念日　２日（日）

西春別小学校は、今年で８４周年を迎えました。



日	曜	１１　月　行　事　予　定	バス時刻
1	土		
2	日	開校記念日	
3	月	文化の日　PTAハンバーグ・パン作り	
4	火	全校朝会(校長)ALT	15:30
5	水	町合同音楽祭	15:30
6	木	歯科指導	14:35
7	金	白鳥号来校	14:35 15:30
8	土		
9	日		
10	月		14:35 15:30
11	火	午前授業(町教育研究会のため)	13:00
12	水		14:35
13	木	お弁当の日	14:35
14	金	複式教育研究大会(西春小)	12:20
15	土		
16	日		
17	月		14:35 15:30
18	火	全校朝会(ゲーム)　ALT	14:35 15:30
19	水		14:35 15:30
20	木		14:35
21	金	委員会	14:35 15:30
22	土		
23	日	勤労感謝の日	
24	月	振替休日	
25	火	全校朝会(目標反省、目標説明)　ALT	14:35 15:30
26	水	食育の学習	14:35
27	木		14:35 15:30
28	金	白鳥号来校	14:35 15:30
29	土		
30	日		
12月			
1	月		
2	火	全校朝会　ALT	
3	水	授業参観日	
4	木	青少年芸術劇場	